

『2017年度生命科学系学会合同年次大会 Conbio2017』に参加して

M1 多々良 浩司

私は、2017年12月6日(水)から9日(土)にかけて神戸ポートアイランドにて開催された2017年度生命科学系学会合同年次大会 Conbio2017に参加し、『腸管オートファジー不全によるバリア機能破綻』という題でポスター発表をさせていただきました。準備期間から学会本番を通して感じたのは、学会は自分のこれまでの頑張りを主張する場ではなく、新しい情報を聞き手に理解してもらおう場なのだろう、ということです。何度も矢野先生に有り難い助言(ダメだし?)を頂きながら、どんなストーリーや図、説明だと伝わりやすくなるか、ひたすら悩み続けた準備期間でした。

学会本番となりいざポスターの前に立つと、多くの分野の方々が見に来て下さり、75分の発表時間が一瞬で終わってしまいました。後になって振り返ると、トイレの中でも説明の練習をしておいて良かったと思うと同時に、もっと的確な返答ができたのではないか、あの論文読んどけば良かった…など、反省すべき点が多くあったように思います。ワークショップやシンポジウムでは、ショウジョウバエ成虫原基における損傷治癒メカニズムに関する知見について触れた他、統計処理では排除されるようなマイナーな細胞や分子がシステム全体に影響を及ぼし得るという、少数性生物学についての講演など、個人的に興味を持った講演にも多く足を運びました。ポスター発表では植物を用いた研究の発表をしている学生にも質問をしたりするなど、普段の研究室生活ではあまり触れることのない分野から多くの刺激を受けました。

夜には三宮へと繰り出し、人生初の神戸を満喫することができました。そこであることに気付いたのですが、神戸の中華街で見られた行列の理由は、その露店が人気であるということ以上に、注文してから豚まんを受け取れるまでの時間が結構長く、そしてひたすら待たされている客たちを見た観光客が人気店だと錯覚してさらにそこに並んでしまう、という *Positive feedback* の結果だと悟りました。そして思い返せばポスター発表でも、人が集まっているポスターには人気なのかな?とつい寄ってしまう自分がいたのです。説明は簡潔で分かりやすい、でも内容が面白いからどんどん人が来る、そんな魅力的な発表ができるよう、今後の研究や自身の成長に精進したいと思っています。最後に、このような貴重な機会を頂けたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

第 40 回日本分子生物学会 参加報告

M1 上野 春奈

12月6日から12月9日にわたって神戸ポートアイランドにて開催された、第40回日本分子生物学会に参加し、「自然免疫系を活性化する新規受容体 Gyc76C のリガンドの探索」という題でポスター発表をさせていただきました。このような大きな学会に参加するのは初めてだったので、ポスター作りにはとても苦労し、スタッフ方、先輩方からたくさんアドバイスをいただき、なんとか完成させることができました。

発表本番では、予想以上に多くの方々に発表を見に来ていただき、非常に嬉しく思ったと同時に、自分の研究について分かりやすく、面白く説明することの難しさを痛感しました。今度も、いただいたアドバイスを胸に、勉学や研究に励みたいと思います。

シンポジウムやワークショップでは、免疫の研究だけではなく、がんや神経系についての新たな知見に触れることができ、大きな刺激を受けました。

最後になりましたが、学会発表という貴重な機会をいただき、感謝いたします。ありがとうございました。